

MC's Pick Up

旬の話題・気になるニュースを毎月お届け! モデル・カーズ・ピックアップ



川重ファン注目のホイールローダ、 オーセント 90ZV

photo:Yoshihiro-HATTORI(服部佳洋)



バイクから鉄道車輛、船舶、航空宇宙産業まで非常に幅広い分野をカバーする川崎重工グループ。そのグループ内でロードホウルダンプ、除雪機械、コンクリート舗装機械などの各種建設機械を手掛けているのが、もともと川崎重工の一部門で2009年に分社・独立した株式会社KCMだ。1960年に建設機械事業に進出して以来、この分野で長い実績を誇る"カワサキ"の建機。ここでご紹介するのは、そんな同社の主力製品たるホイールローダのミニカーである。

お馴染みのダイヤベットがモデル化したのは、カワサキの大型ホイールローダ"90ZV"。バケット容量は3.4~4.5mと、大型クラスの中では比較的軽量級。同じシャシーでも

砂などの細かな粒状のものから碎石、さらに大きな原石まで、その用途によってバケットの形状と容量は異なるが、ダイヤベットの90ZVは碎石製品などの積みみ用のツール(先端のギザギザ)付きストックパイル・タイプのバケットを再現しているようだ。このダイヤベットのミニカーでもアームとバケットの上下動アクションはもちろん、一般的な自動車とは異なりシャシーの真中がジョイントで曲がる中折れ式の操舵アクションもきちんと再現されている。本来のターゲットである子供たちはもちろん、建機モデルを手軽に楽しみたいオトナにとっても、かなり気になるモデルと言えるだろう。

ちなみに実車の方は近年モデル

チェンジを行い、環境性能などを向上させた90ZV-2に進化しているが、参考までにその現行モデルのスペックを紹介しておこう。小型から大型まで、バケットのサイズで言えば1.3mの小型から10.3mの大型まで、全部で11車種のバリエーションが用意される同社のホイールローダ、オーセント・シリーズだが、90ZV-2は排気量10.83リッターの6気筒ターボインタークーラー付エンジンから275馬力を発生する四輪駆動のモンスター。オートマ、パワステはもちろん、フルオートエアコンが完備されたキャブは外部の粉塵の侵入を防ぐ密閉加圧式となっているなど、最新建機の例に漏れず環境性能から作業環境に至るまで高いレベルとなっている。



アームとバケットが上下に動く他、シャシーの真中がジョイントで曲がる中折れ式の操舵アクションも再現されている。スケールは1/48。価格は¥2,625(税込)。

●DK-6103
カワサキ ホイールローダ オーセント 90ZV

●株式会社アガツマ
<http://www.agatsuma.co.jp>
Tel.04-7126-6611(お客様相談室)